

## 第4回金沢競馬経営評価委員会議事(概要)

### 1 開催日

平成22年11月10日(水)

### 2 内容

#### (1) 金沢競馬関係者の意見聴取

経営評価の参考とするため、競馬開催に特に結びつきが深い(社)石川県馬主協会、石川県調騎会(調教師)、石川県調騎会(騎手)、石川県きゅう務員共助会の4団体から意見を聴取した。

#### (2) 基金残高推移、全国地方競馬主催者状況について説明(主な項目)

- ① 基金の減少要因 収支赤字補填、リース残高、廃止協力金等
- ② 第3回評価委員会の収支予測3パターンに対し、今後の基金残高の推移予測を説明

### 3 意見聴取の主な意見

- ① 存続のため厳しい状況になった場合は、協力して頑張るのが関係者だと思う。
- ② 人件費の削減は厳しく一般経費を削減するとサービスが落ちる。このため、賞典奨励費の削減に多少は応じることも必要と思う。(以上、馬主)
- ③ 競馬を存続してもらいたいという気持ちだけである。厳しい状況が続いたとしても、競馬を続けていくという覚悟を持っている。(調教師)
- ④ 経営的に厳しい状況はわかる。賞金・諸手当を下げることも理解できるが、一番最初に下げるのはおかしい。また、今みたいな、もしかしたら来年なくなるのではないかといった前が見えない状況はつらい。(騎手)
- ⑤ 一番の望みは存続である。できれば手当等は現状維持でお願いしたい。(きゅう務員)

### 4 主な意見交換の概要

丸山委員長から評価報告について「金沢競馬の将来見通し」、「存廃の判断基準」、「新たな目標の設定」の3点を柱とする、私案が示された。